

オーストラリア人捕虜家族との交流会 2025

今年も日本政府の招聘でオーストラリアから捕虜家族の方々が来日します。

3月3日、POW研究会の主催で彼らとの市民交流会が行われます。日本軍の捕虜だった彼らの父や祖父がどんな体験をし、その体験を次世代がどう受け止め、日本人に何を求めているのか耳を傾けましょう。そしてお互いに平和を構築するために何ができるか、皆で語り合しましょう。スピーチや発言には通訳がつきます。ぜひご参加ください！

<日時> **2025年3月3日(月) 14:00~16:00**

(開場 13:40)

<会場> **貸会議室内海(千代田区神田三崎町 3-6-15 東京学院ビル 1F/JR水道橋駅西口より徒歩1分)**

<参加費> **500円(学生無料)**

<主催> **POW研究会**

<http://www.powresearch.jp/jp/index.html>

<お申し込み>

高田ミネ：mime388@nifty.com または笹本妙子：kiki@ee.catv-yokohama.ne.jp へ



ゲストの方々

- ① **アーサー・ペグ氏 (Mr. Arthur Pegg)** 元捕虜の息子
 - ・ 84歳。タスマニア州在住。消防隊のボランティアドライバー。
 - ・ 父は1942年にジャワ島で捕虜となり、その後シンガポールのチャンギ捕虜収容所に3年間収容された。大隊の楽団員で、捕虜生活中もバグパイプを持ち歩いていた。
- ② **ハリー・マクスウェル・タイソー氏 (Mr. Harry Maxwell Tysoe)** 元捕虜の孫
 - ・ 69歳。西オーストラリア州在住。元校長。
 - ・ 父方及び母方の祖父が元捕虜。
 - ・ 父方の祖父は1942年にシンガポールで捕虜となり、使役後、神戸収容所(大阪第2分所)に移送され、ここで死亡。遺骨は横浜の英連邦戦死者墓地に埋葬。
 - ・ 母方の祖父は1942年にジャワ島で捕虜となり、泰緬鉄道建設に使役された後、山口県にあった大浜収容所(広島第9分所)に移送され、ここで終戦を迎える。
- ③ **ロバート・ウェブスター氏 (Dr. Robert Webster)** 全豪退役軍人会 (RSL) 公式シニア代表
 - ・ 76歳。ビクトリア州在住。
 - ・ ベトナム戦争に従軍。2017年からRSLビクトリア支部代表。
 - ・ 会計士、不動産鑑定士、大学講師としての経歴。両親共に第2次世界大戦に従軍。

